

新型コロナウイルス感染症の感染拡大予防のための 小松教区 法要・聞法会開催のためのガイドライン

新型コロナウイルス感染症は、高い感染力を持ち、高齢者の死亡率は1割を超える非常に恐ろしい感染症です。また、無症状でも他者に感染させる恐れがあるため、私たちは「感染しない」「感染させない」両面について厳重な注意のもと生活せねばなりません。

小松教区でも、各地域のお講や法要・聞法会など、多くの場で自粛を余儀なくされてきましたが、5月には「新型コロナウイルス感染症対策専門家会議」によって、「新しい生活様式の実践例」や「感染状況に基づく都道府県の3区分」などが相次いで提言され、新型コロナウイルス感染症蔓延下での生活のあり方が提示されました。

小松教区においては、感染拡大の予防を主目的とし、「新しい生活様式の実践例」を順守しつつ法要・聞法会を開催していくために、「小松教区 法要・聞法会開催のためのガイドライン」(第1報)をまとめました。法要・聞法会の開催を判断するうえでの一助として頂けたらと存じます。

なお、当然ながら、本ガイドラインは感染拡大予防を100%保証するものではありません。各自、さらなる防止策を積極的に講じてくださいますようお願い申し上げます。

2020年5月31日 真宗大谷派小松教区

1. 開催要件

① 特定警戒

原則、行なわない
区分が変更されるまで待つ

② 感染拡大注意

「感染観察」となるまで延期可能か検討する
開催せねばならない場合は、下記「③ 感染観察」の要件を厳守して開催する

■ 感染状況に基づく都道府県の3区分(抜粋) ■

名称	緊急事態宣言地域	解除地域	
	① 特定警戒	② 感染拡大注意	③ 感染観察
基本対応	接触の8割減	新しい生活様式を徹底。必要に応じ自粛を要請	新しい生活様式を徹底
外出	法に基づき外出自粛を要請	不要不急の他県への移動は避ける	他区分の県への不要不急の移動は避ける
イベント	クラスターの恐れがあるもの、3密の集まりは自粛を要請	クラスター、3密は自粛要請、その他予防指針を踏まえた対応	参加者は100人以下、かつ定員の50%以下が開催の目安

③ 感染観察

5/26時点は、全国すべて「③ 感染観察」

【会場】 換気ができない場所では開催しない

最大受入れ人数は会場の最大収容人数の半分までとし、これを超える場合は、別会場または人数制限を行う(ただし、最大100名とする)

※ 3畳に1名程度が目安です(小松教務所 講堂は35名定員となります)

※ 100名以上の参加が見込まれる場合、回を分けた開催などをご検討ください

【設営等】 対面を避け、2m程度の間隔が空くことを厳守して席を配置する

手洗いや手指の消毒を行うための用意をする

予備マスクを用意する(参加見込み人数の1~2割程度の個数)

トイレには蓋を閉めて流してもらうための表示を行う

トイレには共用手洗いタオルは用いず、ペーパータオル等を用意する

氏名及び緊急連絡先を把握するための名簿を用意する

(名簿記入を当日行う際は、ペンの使いまわしによる感染拡大を予防するための措置を講じる)

【緊急時のための事前準備】(感染の疑われる方が発生した時のための措置)

隔離用の別室を用意し、対応時に接触を減らす為のマスク・手袋等を用意する

最寄りの保健所を把握しておく(南加賀保健福祉センター・石川中央保健福祉センターなど)

2. 法要・聞法会 準備～当日にご留意いただきたい事項

① 主催側が留意すべき事項

- お齋（会食）を控えた日程にしてください <推奨>午前のみ、午後のみでの開催
- 参加者に、下記 **② 参加者に留意いただきたい事項** の内容を、事前に通知してください
- 感染リスクを減らすため、3つの「密」を避けてください（密閉・密集・密接）
 - 「密閉空間」を避けるために、できるだけ空気の流れる換気をしてください
<推奨>30分毎に1～2分程度、対角線や離れた位置の窓2か所以上を開ける
 - 「密集場所」を避けるために、できるだけ間隔をあけて席を設けてください
法話者や休憩時の移動等でも同様の配慮をしてください
<推奨>2m間隔をあける（最低でも1m）
<推奨>混雑が見込まれる場面（トイレ待ち等）は、1m以上間隔を空けた整列を促す
 - 「密接場面」を避けるために、間近での会話や対面による会話を避けてください
<推奨>講義形式で配置、向かい合う場合は席を互い違いにして配置
- 常に咳エチケットを心掛け、勤行・読経・法話の際にもマスクを着用してください
- 日程の直前・休憩時・直後には、手洗いや手指の消毒を厳守してください
- 特に、勤行後は速やかに換気を行ってください
- 感染が疑われる方が発生した場合、以下3点の対応を行ってください
 - 対応する方は、極力接触を減らした対応をするため、マスク・手袋等を着用してください
 - 速やかに別室に隔離し、参加者へ手洗い・手指消毒を行うよう案内してください
 - 速やかに保健所に連絡し、消毒や濃厚接触者調査等の指示を受けてください

② 参加者に留意いただきたい事項

- 当日自宅で検温を行い、体温が37.5℃（または平熱+1℃）以上ある場合や、体調が優れない場合は、参加を控えてください
- ハンカチは必ず持参してください（携帯用アルコール消毒液等も、あれば持参ください）
- マスクは必ず着用してきてください（外出時は必ずマスクを着用するようにしてください）
- 感染リスクを減らすため、3つの「密」を避けてください（密閉・密集・密接）
 - （密閉）休憩の際は外に出る（同じ場所に長くとどまらない）
 - （密集）他の人と十分な距離を取る（最低でも1m空けるよう努める）
 - （密接）向かい合って座らない（向かい合う場合は互い違いに座る）
- 参加前後のお齋（会食）は控えてください
- 入場時、退場時には必ず手洗いや手指の消毒を行ってください
- 勤行の時も、マスクは外さずにお勤めしてください
- 「新しい生活様式の実践例」などを参考に、日常的な自己管理を徹底し、感染症の媒介者とならないようにご留意ください
- 新型コロナウイルス感染症への対処法を正しく理解し実行することで、差別や風評被害が広がらないように努めてください

【参考資料】

「新しい生活様式」の実践例（新型コロナウイルス感染症対策専門者会議）

感染状況に基づく都道府県の3区分（新型コロナウイルス感染症対策専門者会議）

法要（葬儀・法事等）における新型コロナウイルス感染症の感染防止に向けての宗派指針（真宗大谷派）

新型コロナウイルス感染症対策 業種別の感染拡大予防ガイドラインー覧 ②集会場、公会堂（内閣官房）